会社の体質改善法（第9回）

オフィス回帰の動きも。御社はどうする～パソコントラブル対応法

2023.06.26

「おはようございます」。エレベーターホールで交わされる一言に、オフィスに活気が戻ってきたと感じる人もいるだろう。そんなすがすがしい気持ちでパソコンを取り出して起動する。「あれっ。パソコンが遅い……。なんで？」。こうなってしまうと、せっかく同僚と交わした心地よいあいさつから一転、気が重くなる。

実はこのオフィスで使っているパソコンはWindows10がリリースされてから購入したもので、かれこれ7～8年がたつ。Windows10のサポート終了は2025年10月なのでまだ使い続けることもできるが、今のパソコンのスペックではソフトウエアの処理に時間がかかり、動作が遅くなっているのだ。

オフィスのパソコンが遅くなる原因は多岐にわたる

オフィス回帰の機運とともにこんな悩みの声も聞かれそうだ。パソコンの動作が遅くなる要因の1つにはディスク容量の問題がある。クリーンアップして不要な一時ファイルなどを削除してアクセスを高速にするなどの対処方法もあるが、起動時に動作するアプリケーションが多いと、パソコンのリソースを消費して動作が重くなることがある。

対処としてはアプリケーションを無効化することや、不要なファイルを探し出して自動的に削除し、ディスク容量を回復するツールの活用が考えられるものの、動作が遅くなる問題は本体に起因することだけではない。例えば、インターネット接続。アクセス回線は一般的に混雑状況によって回線速度が変わるベストエフォート型だ。同時に回線を利用する人が多ければインターネット接続が遅くなることもある。また、社内で利用するWi-Fi環境もパソコンの動作に影響する。Wi-Fiのアクセスポイント（AP）には適正な同時利用台数があり、一斉に多くのユーザーがアクセスすると接続が遅くなるので、全体的な視点からオフィスのIT環境を見直す必要もあるだろう。

パソコンの動作が遅くなると従業員の生産性低下の原因にもなってしまう

導入後の運用・サポートでサービスを選定… 続きを読む